取扱説明書

FlexScan® EV2334W

カラー液晶モニター

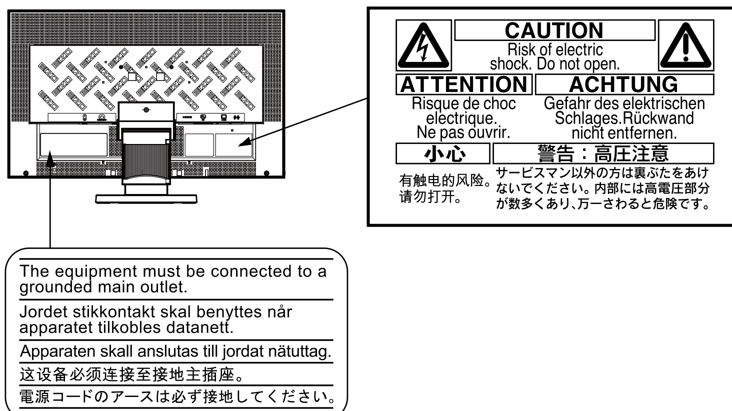
重要

ご使用前には必ず使用上の注意、本取扱説明書およびセットアップガイドをよくお読みになり、正しくお使いください。

- コンピュータなど、外部機器との接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップガイドをお読みください。
- 最新の取扱説明書は、当社のホームページからダウンロードできます。
  http://www.eizo.co.jp



【警告表示位置】



この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。
また、製品の付属品 (ケーブル含む) や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCI の技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



本製品は、オフィス機器の安全性、エルゴノミクス、環境等に関する TCO 規格を取得しています。
規格の概要は当社のホームページからご覧いただくことができます。
http://www.eizo.co.jp

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

モニターについて

本製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途に適しています。

本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

本製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、30 分程度かかりますので、モニターの調整は電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをおすすめします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。（次ページ「クリーニングのしかた」参照）

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は 99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押したあとが残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

液晶パネルを固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングのしかた

注意点

・溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど）は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

・液晶パネル面のクリーニングには ScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをおすすめします。

液晶パネル面

・汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
・落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

・画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
・長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に 10 分程度の休憩を取ってください。

もくじ

もくじ

第 1 章　特長と概要

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1 - 1　特長

- 23 型ワイド画面
- 解像度 1920 × 1080 対応
- 広視野角パネル採用
  VA パネルによる上下左右 89°の広視野角を実現。
- HDMI 端子を搭載
  - HDMI 入力で PC 信号に対応。コンピュータの 3 系統入力が可能になります。
- Power Resolution 機能
  画像の輪郭を強調することでぼやけ感を軽減することができます。
  ● ぼやけ感を軽減する［Power Resolution］（P22）参照
- ゲームやアニメ映像に適した専用ガンマモード「Power」を搭載
  中間階調のコントラストを強調したメリハリのある画像になります。
  ● ガンマを調整する [ガンマ]（P21）参照
- 省電力機能
  消費電力※1 を抑えることで、二酸化炭素排出量の削減につながります。
  本機は省電力のためのさまざまな機能を搭載しています。
  - 主電源オフ時消費電力 0W
    主電源スイッチを装備。
    モニターを使用しない時は、主電源スイッチを切ることで、確実に電源供給が停止します。
  - 待機電力 0.1W 以下
    電源ボタンオフ時の待機電力は、0.1W 以下を実現しています。
  - Auto EcoView 機能
    モニター正面のセンサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。
    不必要に高い輝度は、環境にも目にも負荷を与えます。輝度を抑えることにより、消費電力の削減と、目への負担を軽減します。
    2-9　モニターの自動明るさ調整のオン / オフを切り替える［Auto EcoView］（P25）参照
  - EcoView Sense 機能
    モニター正面のセンサーが人の動きを検知します。人がモニターから離れると、自動的に省電力モードに移行して画面を非表示にするため、消費電力の低減につながります。
    2-10　離席時の省電力モードの設定をする [EcoView Sense]（P25）参照
  - EcoView Index 機能搭載
    モニターの輝度に応じた省電力の度合いを、緑のインジケータで示します。
    省電力の度合いを意識することで、消費電力の削減につながります。
    2-11　省電力の度合いを示すインジケータの表示 / 非表示を切り替える [EcoView Index]（P26）参照
- 調光制御による輝度安定
  広範囲な輝度調整に対応 (20 ～ 100%)。
  最低輝度まで下げても安定した正確な表示を保ちます。極端な暗所での使用に際しても、目に優しい快適な輝度に調整が可能です。
- FineContrast（ファインコントラスト）機能搭載
  ゲームや映画の映像に適した表示モードを搭載
  2-3　表示モード（FineContrast（ファインコントラスト）モード）を選ぶ（P19）参照
- マウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェア「ScreenManager Pro for LCD （DDC/CI）」添付
  2-1　ユーティリティディスクについて（P15）参照

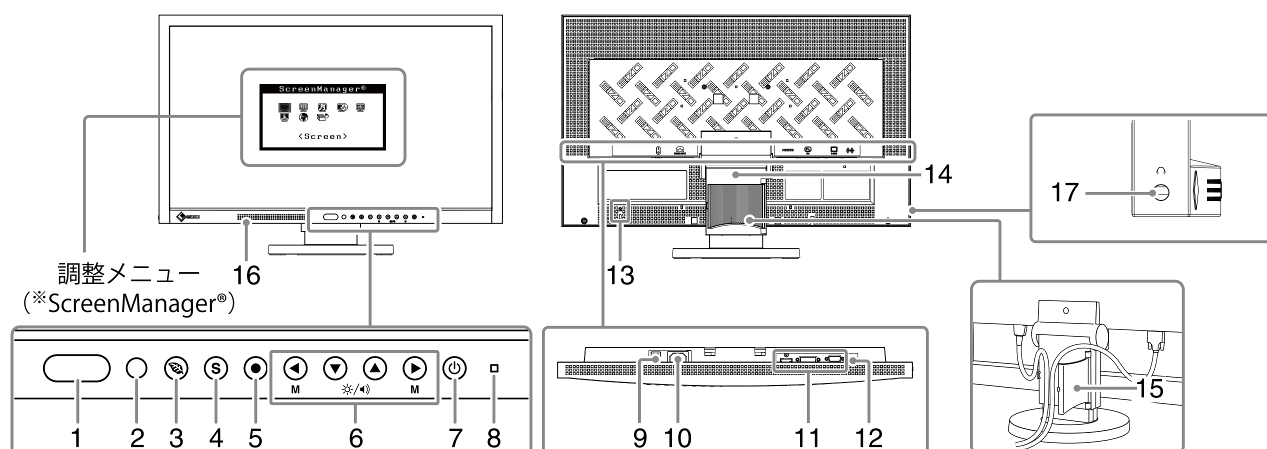
※1 参考値
最大消費電力 42W（輝度最大、製品初期値）
標準消費電力 25W（輝度 120cd/m^2、製品初期値）

- 著作権保護技術 HDCP 対応
- スピーカー、ヘッドホンジャック装備
  1-2　各部の名称と機能（P9）参照
- オーバードライブ機能搭載
  2-3　オーバードライブの強さを設定する [オーバードライブ]（P23）参照

参考

- 本機はスタンド部分を取り外してアーム（または他のスタンド）を取り付けることができます（「5-1 アーム取付方法」P36 参照）。

1 - 2　各部の名称と機能



1	**EcoView Sense センサー**	モニター正面の人の動きを検知します。EcoView Sense （エコビューセンス） 機能（P25）
2	**Auto EcoView センサー**	周囲の明るさを検知します。Auto EcoView （オートエコビュー） 機能（P25）
3	**EcoView ボタン**	省電力機能 (Auto EcoView（オートエコビュー）、EcoView Sense（エコビューセンス）EcoView Index （エコビューインデックス））の設定画面を表示します。（P25、P25、P26）
4	**入力切替ボタン**	表示する入力信号を切り替えます。（P32）
5	**エンターボタン**	調整メニューを表示し、各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します。（P14）
6	**コントロールボタン（左、下、上、右）**	・調整メニューを使って詳細な調整をする場合に、調整項目を選択したり、調整値を増減します。（P14） ・◀または▶ボタン：FineContrast （ファインコントラスト） モードを切り替えます。（P19） ・▼または▲ボタン ：ブライトネス（明るさ）および音量の調整画面を表示します。（P11）
7	**電源ボタン**	電源のオン / オフを切り替えます。
8	**電源ランプ**	モニターの動作状態を表します。 青：画面表示　　橙：省電力モード　　消灯：主電源スイッチ / 電源ボタンオフ
9	**主電源スイッチ**	主電源のオン / オフを切り替えます。
10	**電源コネクタ**	電源コードを接続します。
11	**信号入力コネクタ**	左：HDMI コネクタ / 中：DVI-D コネクタ / 右：D-Sub15 ピン（ミニ）コネクタ
12	**ステレオミニジャック**	ステレオミニジャックケーブルを接続します。
13	**盗難防止用ロック**	Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
14	**スタンド**	高さと角度が調整できます。
15	**ケーブルホルダー**	ケーブルを収納します。
16	**スピーカー**	音声を再生します。
17	**ヘッドホンジャック**	ヘッドホンを接続します。

※ ScreenManager® は当社調整メニューのニックネームです。使用方法は、P11 を参照してください。

1 - 3　対応解像度 / 信号フォーマット

本機は以下の解像度 / 信号フォーマットに対応しています。

アナログ信号（D-Sub）入力時

解像度	垂直周波数	ドットクロック
640 × 480（VGA, VESA）	~75 Hz	148.5 MHz（最大）
720 × 400 （VGA TEXT）	70 Hz	
800 × 600（VESA）	~75 Hz	
1024 × 768（VESA）	~75 Hz	
1280 × 960（VESA）	60 Hz	
1280 × 1024（VESA）	~75 Hz	
1280 × 720（CEA-861）	60 Hz	
1680 × 1050（VESA CVT, VESA CVT RB）	60 Hz	
※ 1920 × 1080（CEA-861）	60 Hz	

デジタル信号（DVI-D、HDMI：PC信号）入力時

解像度	垂直周波数	ドットクロック
640 × 480（VGA）	60 Hz	148.5 MHz（最大）
720 × 400（VGA TEXT）	70 Hz	
800 × 600（VESA）	60 Hz	
1024 × 768（VESA）	60 Hz	
1280 × 960（VESA）	60 Hz	
1280 × 1024（VESA）	60 Hz	
1280 × 720（CEA-861）	60 Hz	
1680 × 1050（VESA CVT, VESA CVT RB）	60 Hz	
※ 1920 × 1080（CEA-861）	60 Hz	

VESA 規格および CEA-861 規格に準拠したグラフィックスボードをご使用ください。

※ 推奨解像度です。（この解像度に設定してお使いください。）

デジタル信号（HDMI：ビデオ信号）入力時

・映像信号
- VGA /525i（480i）/525p（480p）/1125i（1080i）/750p（720p）/1125p（1080p）：60Hz

・音声信号
- 2ch リニア PCM（32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz）

1 - 4　機能一覧と調整メニュー基本操作方法

画面・カラーを調整したいときは

◉ メインメニュー（操作方法は P14 参照）

[アナログ信号入力時]



[デジタル信号入力時]



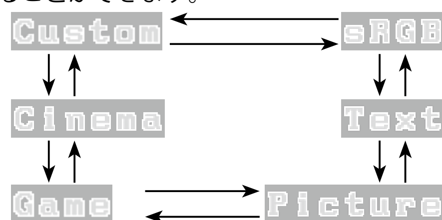
- 調整メニューとFineContrast（ファインコントラスト）モード名を同時に表示させることはできません。

◀ ▶ FineContrast （ファインコントラスト） モード

カラー調整をする（簡易調整） P19 参照

[FineContrast （ファインコントラスト） モード]

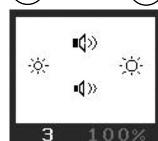
モニターの用途に応じた表示モード（5 種類）へ簡単に切り替えることができます。



▼ ▲ ブライトネス・音量ダイレクトメニュー

ブライトネス（明るさ）・音量を調整する

▼ または ▲ を押して調整画面を表示します。



ブライトネス：◀ または ▶ を押して調整します。

音量　　　　：▼ または ▲ を押して調整します。

アナログ信号入力の場合のみ

1 画面調整をする（自動調整） P16 参照



- ちらつきや位置を調整する
  [ピクチャー調整] ……………………… P16 参照
- 色階調を自動調整する
  [レンジ調整] ………………………… P18 参照



2 画面調整をする（詳細調整） P17 参照

[アナログ信号入力時]



[デジタル信号入力時]



- 縦縞を消す [クロック※] …………… P17 参照
- ちらつきやにじみをとる
  [フェーズ※]……………………………… P17 参照
- 表示位置のずれを直す
  [ポジション※]………………………… P18 参照
- 文字や線のぼやけを直す
  [スムージング] ……………………… P18 参照

「※」はアナログ信号入力の場合に調整できます。

カラー調整をする（詳細調整） P20 参照



- 「Custom/sRGB/Text/Picture/Game/Cinema」それぞれのモードに対して、「 ブライトネス / 黒レベル / コントラスト / 色温度 / ガンマ / 色の濃さ / 色合い / ゲイン /Power Resolution/ オーバードライブ 」の設定ができます。
  FineContrast （ファインコントラスト） モードごとに設定できる機能は異なります。

お買い上げ時の設定に戻す

- カラー調整値をリセットする
  [リセット] ……………………………… P30 参照

消費電力を抑えて使いたいときは

メインメニュー（操作方法は P14 参照）

[アナログ信号入力時]



[デジタル信号入力時]



省電力設定をする



- モニターの省電力モードのオン / オフを切り替える [パワーセーブ] ……………………… P24 参照
- モニターの自動電源切断機能の設定をする [オフタイマー] ………………………… P25 参照
- 離席時の省電力モードの設定をする [EcoView Sense] ………………………… P25 参照

- 調整メニューと EcoView メニューを同時に表示させることはできません。
- EcoView メニューはモニターの電源投入時に一時的に表示されます。

EcoView メニュー

EcoView 機能 (省電力機能) の オン / オフを切り替える **P25 参照**

本機は省電力を目的とした EcoView 機能を搭載しています。

を押して設定画面を表示します。



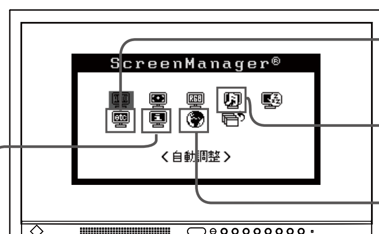
▲ または ▼ を押して項目を選択します (でも選択できます)。
◀ または ▶ を押してオン / オフを切り替えます。

- モニターの自動明るさ調整のオン / オフを切り替える [Auto EcoView] ……………… P25 参照
- 離席時の省電力モードの設定をする [EcoView Sense] ……………………………… P25 参照
- 省電力の度合いを示すインジケータの表示 / 非表示を切り替える [EcoView Index] ……………… P26 参照

便利な設定や調整をしたいときは

◉メインメニュー（操作方法は P14 参照）

[アナログ信号入力時]



[デジタル信号入力時]



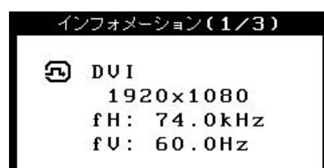
その他の設定をする



- 表示サイズを切り替える
  [拡大モード] ………………………… P27 参照
- 画像の非表示部分の明るさを変える
  [ボーダー] ……………………………… P27 参照
- 入力信号の切替方法を設定する
  [入力信号] ……………………………… P32 参照
- 調整メニューの表示を変更する
  [メニューサイズ / メニューポジション / メニューオフタイマー / 半透明] …… P28 参照
- 調整メニューの向きを設定する
  [設置方向] ……………………………… P36 参照
- 電源ランプの点灯 / 消灯を切り替える
  [電源ランプ] ………………………… P29 参照
- 正しく色が表示されない場合に設定する
  [HDMI カラースペース]……………… P34 参照
- すべての設定内容をリセットする
  [リセット] ……………………………… P30 参照

情報をみる

P29 参照



- モニター情報を表示する
  [インフォメーション]

サウンドの設定をする

[D-Sub/DVI-D 信号入力時]



[HDMI 信号入力時]



- 音量を調整する［音量］ …………… P23 参照
- HDMI 信号入力時の音源を切り替える
  [音源※]………………………………… P23 参照
- 省電力モード時の音声出力のオン / オフを切り替える [パワーセーブ] ………………… P23 参照

「※」は HDMI 信号入力の場合に変更できます。

表示言語を設定する

P29 参照



- 表示言語を設定する [言語選択]

- 操作ボタンをロックする
  ……………………………………………… P29 参照
- DDC/CI 通信の有効 / 無効を切り替える
  ……………………………………………… P29 参照
- EIZO ロゴの表示 / 非表示を切り替える
  ……………………………………………… P30 参照

調整メニューの基本操作方法

[調整メニューの表示と機能の選択]

(1) 操作ボタンの ⦿ を押します。メインメニューが表示されます。

(2) 操作ボタンの ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で機能を選択し、 ⦿ を押します。サブメニューが表示されます。

(3) 操作ボタンの ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で機能を選択し、 ⦿ を押します。調整 / 設定メニューが表示されます。

(4) 操作ボタンの ▲ / ▼ / ◀ / ▶ で調整し、 ⦿ を押します。設定が確定します。

[調整メニューの終了]

(1) サブメニューで＜リターン＞を選択し、 ⦿ を押します。メインメニューが表示されます。

(2) メインメニューで＜メニューオフ＞を選択し、 ⦿ を押します。調整メニューが終了します。

参 考

- ⦿ をすばやく続けて 2 回押しても調整メニューを終了させることができます。
- メインメニュー / サブメニューで ▼ を 2 回または 3 回押しても＜メニューオフ＞ / ＜リターン＞を選択することができます。

第 2 章　設定と調整をする

2 - 1　ユーティリティディスクについて

本機には「EIZO LCD ユーティリティディスク」（CD-ROM）が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は、下記を参照してください。

● ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内の Readmeja.txt を参照してください。

内容	概要	対応 OS
Readmeja.txt ファイル		
画面調整パターン集	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。	
ScreenManager Pro for LCD (DDC/CI)	マウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェアです。 HDMI 入力に接続したコンピュータでは動作しません。	Windows XP/Vista/7
EIZO ScreenSlicer	画面を分割して、複数のウィンドウを効率よく配置するソフトウェアです。	Windows XP/Vista/7
モニターの取扱説明書（PDF ファイル）		

● ScreenManager Pro for LCD を使用するときは

ScreenManager Pro for LCD のインストール方法、使用方法については、ディスク内の ScreenManager Pro for LCD の取扱説明書を参照してください。

2 - 2　画面の調整をする

デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されますが、文字や線がぼやけている場合は、手順 6 の「文字や線のぼやけを直す［スムージング］」にお進みください。
さらに詳細な調整をおこなう場合は「2 - 3　カラー調整をする（P19）」以降を参照してください。

アナログ信号入力の場合

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。

> 以下の場合にはセルフアジャスト機能が働きます。
> • モニターに初めて信号を入力した場合
> • これまでに表示したことのない解像度や垂直周波数、水平周波数に変更した場合

セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくために、以下の調整手順に従って画面の調整をしてください。

注意点
• 調整はモニターの電源を入れて、30 分以上経過してからおこなってください。また、この間省電力モードに移行しないよう、EcoView Sense をオフにしておくことをおすすめします（「2 - 10 離席時の省電力モードの設定をする [EcoView Sense]」P25 参照）。
• 解像度 800 × 600（SVGA）未満の信号ではセルフアジャスト機能は働きません。

［調整手順］

1　自動調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する［ピクチャー調整］

(1) ＜自動調整＞メニューで＜ピクチャー調整＞を選択し、◉ を押します。
＜自動調整＞メニューが表示されます。

(2) ▲ または ▼ で＜実行＞を選択し、◉ を押します。
自動調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

> 1 の手順を実行しても画面が正確に表示されていない場合は以降の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、手順 5 の「色階調を自動調整する［レンジ調整］」にお進みください。

注意点
• この機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
• 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

2　アナログ画面調整用のパターンを準備します。

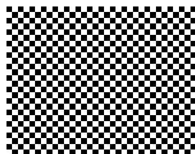
「EIZO LCD ユーティリティディスク」をコンピュータにセットし、「画面調整パターン集」を開きます。

参考
• 「画面調整パターン集」の開きかたおよび内容については、Readmeja.txt を参照してください。

3 アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する［ピクチャー調整］

(1) 「画面調整パターン集」のパターン 1 を全画面に表示します。



(2) ＜自動調整＞メニューで＜ピクチャー調整＞を選択し、◉を押します。
＜自動調整＞メニューが表示されます。

(3) ▲または▼で＜実行＞を選択し、◉を押します。
自動調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

3 の手順を実行しても画面が正確に表示されていない場合は以降の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、手順 5 の「色階調を自動調整する［レンジ調整］」にお進みください。

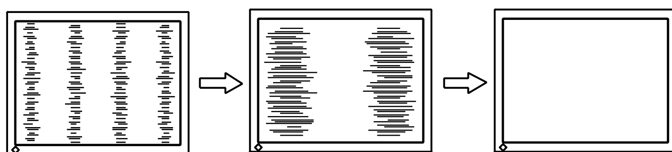
4 調整メニューの＜ピクチャー調整＞メニューで詳細な調整をします。

クロック→フェーズ→ポジションを順に調整します。

● 縦縞を消す［クロック］

(1) ＜ピクチャー調整＞メニューで＜クロック＞を選択し、◉を押します。
＜クロック＞メニューが表示されます。

(2) ◀または▶で縦縞が消えるように調整し、◉を押します。
調整が完了します。

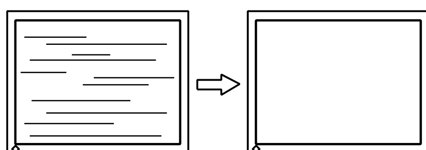


● ちらつきやにじみをとる［フェーズ］

調整範囲：0 ～ 63

(1) ＜ピクチャー調整＞メニューで＜フェーズ＞を選択し、◉を押します。
＜フェーズ＞メニューが表示されます。

(2) ◀または▶で最もちらつきやにじみのない画面に調整し、◉を押します。
調整が完了します。



参考
- 調整が合ったポイントを見逃しやすいので、コントロールボタンはゆっくり押して調整するようにしてください。
- 調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる［フェーズ］」にすすみ調整をおこなってください。

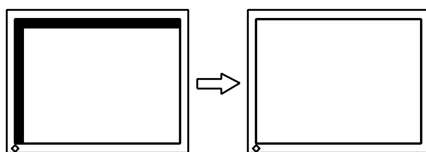
注意点
- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

参考
- 調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す［クロック］」に戻り、再度調整をおこなってください。（クロック→フェーズ→ポジション）

● 表示位置のずれを直す［ポジション］

(1) <ピクチャー調整>メニューで<ポジション>を選択し、Ⓔを押します。
<ポジション>メニューが表示されます。

(2) 画像の位置が合うように▲/▼/◀/▶で調整し、Ⓔを押します。
調整が完了します。



(3) パターン 1 を閉じます。

5 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する［レンジ調整］

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0 ～ 255）を表示できるように調整できます。

(1) 「画面調整パターン集」のパターン 2 を全画面に表示します。



(2) <自動調整>メニューで<レンジ調整>を選択し、Ⓔを押します。

(3) ▲または▼で"実行"を選択し、Ⓔを押します。
出力レンジが自動的に調整されます。

(4) パターン 2 を閉じます。

6 文字や線のぼやけを直します。

● 文字や線のぼやけを直す［スムージング］

推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。
調整範囲：1 ～ 5

(1) 調整メニューの<ピクチャー調整>メニューを選択し、Ⓔを押します。

(2) <ピクチャー調整>メニューで<スムージング>を選択し、Ⓔを押します。
<スムージング>メニューが表示されます。

(3) ◀または▶で調整し、Ⓔを押します。
設定が完了します。

参考
- 液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は 1 箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

注意点
- 表示解像度によってはスムージングの設定をする必要はありません（スムージングアイコンを選択することはできません）。

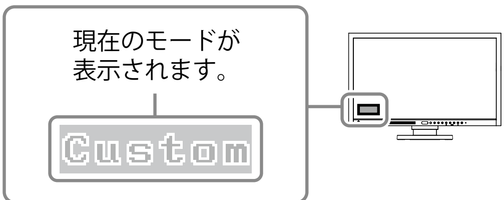
2 - 3　カラー調整をする

● 表示モード（FineContrast（ファインコントラスト）モード）を選ぶ

FineContrast （ファインコントラスト） 機能を使って、モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

FineContrast （ファインコントラスト） モードの種類

モード	目　的
Custom	全ての設定値を変更することができます。
sRGB	sRGB 対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
Text	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。
Picture	写真やイラストなどの画像表示に適しています。
Game	ゲーム映像の表示に適しています。
Cinema	映画などの映像の表示に適しています。



(1) ◀ または ▶ を押します。
FineContrast（ファインコントラスト）モード名が画面左下に表示されます。

(2) モード名が表示されている間に、◀ または ▶ を押してモードを切り替えます。

→ Custom ←→ sRGB ←→ Text ←→ Picture ←→ Game ←→ Cinema ←

参考

- 調整メニューと FineContrast（ファインコントラスト）モード名を同時に表示させることはできません。
- ScreenManager Pro for LCD を使うと、使用するアプリケーションにあわせて、FineContrast （ファインコントラスト） モードが自動で切り替わります。（ScreenManager Pro for LCD の取扱説明書「第 3 章 オートファインコントラスト」参照）

● 詳細な調整をする

FineContrast（ファインコントラスト）のモードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

● 各モードの調整項目

FineContrast（ファインコントラスト）モードの種類により、調整できる機能が異なります。

○：調整可　—：調整不可

アイコン	機能名	FineContrast（ファインコントラスト）モード					
		Custom	sRGB	Text	Picture	Game	Cinema
	ブライトネス	○	○	○	○	○	○
	黒レベル	○	—	○	○	○	○
	コントラスト	○	—	○	○	○	○
	色温度	○	—	○	○	○	○
	ガンマ	○	—	○	—	○	—
	色の濃さ	○	—	○	○	○	○
	色合い	○	—	○	○	○	○
	ゲイン	○	—	—	—	—	—
	Power Resolution	○	—	—	○	○	○
	オーバードライブ	○	—	—	—	○	—
	リセット	○	○	○	○	○	○

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、30分以上経過してからおこなってください。また、この間省電力モードに移行しないよう、EcoView Senseをオフにしておくことをおすすめします（「2 - 10 離席時の省電力モードの設定をする [EcoView Sense]」P25参照）。
- アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、最初にレンジ調整をおこなってください。（「色階調を自動調整する」P18参照）
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- 「%」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。
- ScreenManager Pro for LCDを使うと、マウスとキーボードの操作でカラー調整をおこなうことができます。また、調整状態をカラーデータとして保存し、読み込むこともできます。（ScreenManager Pro for LCDの取扱説明書「第4章 カラー調整」参照）

● ブライトネス（明るさ）を調整する［ブライトネス］

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

調整範囲：0 ～ 100%

(1) 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、◉を押します。

(2) ＜カラー＞メニューで＜ブライトネス＞を選択し、◉を押します。
＜ブライトネス＞調整画面が表示されます。

(3) ◀または▶で調整し、◉を押します。
調整が完了します。

参考

- ダイレクトメニューで調整することもできます（「1-4 機能一覧と調整メニュー基本操作方法」P11参照）。

● 黒レベルを調整する［黒レベル］

映像の黒色の状態を調整します。

調整範囲：-50 ～ 50

(1) 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、◉を押します。

(2) ＜カラー＞メニューで＜黒レベル＞を選択し、◉を押します。
＜黒レベル＞調整画面が表示されます。

(3) ◀または▶で調整し、◉を押します。
調整が完了します。

参考

- 選択しているFineContrast（ファインコントラスト）モードにより、アイコンが表示されず、調整できない場合があります（「各モードの調整項目」P20参照）。
- 黒レベル調整後は、必要に応じてコントラストを再調整してください。

● コントラストを調整する［コントラスト］

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

調整範囲：0 ～ 100%

(1) 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、● を押します。

(2) ＜カラー＞メニューで＜コントラスト＞を選択し、● を押します。
＜コントラスト＞調整画面が表示されます。

(3) ◀ または ▶ で調整し、● を押します。
調整が完了します。

参考

- 選択している FineContrast （ファインコントラスト）モードにより、アイコンが表示されず、調整できない場合があります（「各モードの調整項目」P20 参照）。
- 50% ですべての色階調を表示します（PC 信号入力のみ）。
- 画面の明るさは、はじめに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをおすすめします。
  コントラスト調整は以下のような場合に使用してください。
  - ブライトネスが 100% でも画面が暗いと感じた時（コントラストを 50% 以上に設定します）
  - ブライトネスが 0% でも画面が明るいと感じた時（コントラストを 50% 以下に設定します）

● 色温度を調整する［色温度］

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K:Kelvin （ケルビン） という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

5000K	やや赤みがかかった色です。印刷業界では一般的に 5000K や 6500K が使われています。
6500K	暖色で紙色に近い色調で、写真やビデオ画像の表示に適した色調とされています。
9300K	やや青みがかかった白色です。

調整範囲： オフ、4000K ～ 10000K（500K 単位、9300K 含む）

(1) 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、● を押します。

(2) ＜カラー＞メニューで＜色温度＞を選択し、● を押します。
＜色温度＞調整画面が表示されます。

(3) ◀ または ▶ で調整し、● を押します。
調整が完了します。

参考

- 選択している FineContrast（ファインコントラスト）モードにより、アイコンが表示されず、調整できない場合があります（「各モードの調整項目」P20 参照）。
- ［ゲイン］でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する［ゲイン］」P22 参照）。
- 「オフ」でパネル本来の色（ゲインの値は RGB 各 100%）になります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

● ガンマを調整する［ガンマ］

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

調整範囲：1.8、2.0、2.2、Power

(1) 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、● を押します。

(2) ＜カラー＞メニューで＜ガンマ＞を選択し、● を押します。
＜ガンマ＞調整画面が表示されます。

(3) ◀ または ▶ で調整し、● を押します。
調整が完了します。

参考

- 選択している FineContrast （ファインコントラスト）モードにより、アイコンが表示されず、調整できない場合があります（「各モードの調整項目」P20 参照）。
- Power を選択すると、中間階調のコントラストを強調したメリハリのある画像になります。

● 色の濃さを調整する［色の濃さ］

色の濃さを調整します。

調整範囲：-128 ～ 127

(1) 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、● を押します。

(2) ＜カラー＞メニューで＜色の濃さ＞を選択し、● を押します。
＜色の濃さ＞調整画面が表示されます。

(3) ◀ または ▶ で調整し、● を押します。
調整が完了します。

注意点

- 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 選択している FineContrast（ファインコントラスト）モードにより、アイコンが表示されず、調整できない場合があります（「各モードの調整項目」P20 参照）。
- -128 で白黒の画面になります。

● 色合いを調整する［色合い］

色合いを調整します。値を高くすると緑がかった色になり、値を低くすると紫がかった色になります。

調整範囲：-32 ～ 32

(1) 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、● を押します。

(2) ＜カラー＞メニューで＜色合い＞を選択し、● を押します。
＜色合い＞調整画面が表示されます。

(3) ◀ または ▶ で調整し、● を押します。
調整が完了します。

注意点

- 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 選択している FineContrast（ファインコントラスト）モードにより、アイコンが表示されず、調整できない場合があります（「各モードの調整項目」P20 参照）。

● ゲインを調整する［ゲイン］

色を構成する赤・緑・青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

調整範囲：0 ～ 100%

(1) 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、● を押します。

(2) ＜カラー＞メニューで＜ゲイン＞を選択し、● を押します。
＜ゲイン＞調整画面が表示されます。

(3) 赤、緑、青それぞれの値を ◀ または ▶ で調整し、● を押します。
調整が完了します。

注意点

- 本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 選択している FineContrast（ファインコントラスト）モードにより、アイコンが表示されず、調整できない場合があります（「各モードの調整項目」P20 参照）。
- 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

● ぼやけ感を軽減する［Power Resolution］

画像の輪郭を強調することでぼやけ感を軽減することができます。

設定範囲：オフ、1、2、3

(1) 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、● を押します。

(2) ＜カラー＞メニューで＜ Power Resolution ＞を選択し、● を押します。
＜ Power Resolution ＞設定画面が表示されます。

(3) ◀ または ▶ で設定し、● を押します。
設定が完了します。

参考

- 選択している FineContrast（ファインコントラスト）モードにより、アイコンが表示されず、調整できない場合があります（「各モードの調整項目」P20 参照）。
- ＜ Power Resolution ＞設定画面表示中に ▲ または ▼ を 2 秒以上長押しすると、デモ表示になります。
  画面左半分：
  Power Resolution 設定状態
  画面右半分：
  Power Resolution オフ状態
  通常表示に戻すには、▲ または ▼ を 2 秒以上長押しします。

● オーバードライブの強さを設定する［オーバードライブ］

モニターの用途に応じて、オーバードライブの強さを設定することができます。動画を表示する場合は、「強」にすることで、残像感を低減します。

設定範囲：強、普通、オフ

(1) 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、◉ を押します。
(2) ＜カラー＞メニューで＜オーバードライブ＞を選択し、◉ を押します。
＜オーバードライブ＞設定画面が表示されます。
(3) ▲ または ▼ で設定し、◉ を押します。
設定が完了します。

注意点
- 以下の場合は、オーバードライブ機能が無効になります。
  - 入力信号の垂直周波数が 60Hz 以外の場合
  - ＜拡大モード＞で「ノーマル」を選択している場合（表示解像度が 1920 × 1080 のときを除く）

参考
- 選択している FineContrast（ファインコントラスト）モードにより、アイコンが表示されず、調整できない場合があります（「各モードの調整項目」P20 参照）。

2 - 4　音量を調整する［音量］

スピーカーやヘッドホンの音量を調整することができます。

調整範囲：0 ～ 30

(1) 調整メニューの＜サウンド＞メニューを選択し、◉ を押します。
(2) ＜サウンド＞メニューで＜音量＞を選択し、◉ を押します。
音量調整画面が表示されます。
(3) ◀ または ▶ で調整し、◉ を押します。
調整が完了します。

参考
- ダイレクトメニューで調整することもできます (「1-4 機能一覧と調整メニュー基本操作方法」P11 参照)。
- HDMI とステレオミニジャックそれぞれの音量を、個別に設定することができます。

2 - 5　HDMI 信号入力時の音源を切り替える［音源］

HDMI 信号入力時の音源を切り替えます。HDMI/ ステレオミニジャックが選択できます。

(1) 調整メニューの＜サウンド＞メニューを選択し、◉ を押します。
(2) ＜サウンド＞メニューで＜音源＞を選択し、◉ を押します。
音源設定画面が表示されます。
(3) ▲ または ▼ で「HDMI」または「ステレオミニジャック」を選択し、◉ を押します。
設定が完了します。

参考
- HDMI 信号入力の場合に変更できます。
ただし、DVI-HDMI 変換ケーブルを使用している場合は、「ステレオミニジャック」となり、変更できません。

2 - 6　省電力モード時の音声出力のオン / オフを切り替える［パワーセーブ］

モニターの省電力モード時に、スピーカーまたはヘッドホンから音声を出力する / しないの切り替えができます。

(1) 調整メニューの＜サウンド＞メニューを選択し、◉ を押します。
(2) ＜サウンド＞メニューで＜パワーセーブ＞を選択し、◉ を押します。
＜パワーセーブ＞設定画面が表示されます。
(3) ▲ または ▼ で「オン」または「オフ」を選択し、◉ を押します。
設定が完了します。

参考
- 入力信号と音源が HDMI の場合、モニターの省電力モード時に音声は出力されません。

2 - 7　モニターの省電力モードのオン / オフを切り替える［パワーセーブ］

ご使用の機器がコンピュータの場合、コンピュータの状態と連動してモニターを省電力モードにする / しないの切り替えができます。省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

(1) 調整メニューの＜ PowerManager ＞メニューを選択し、⦿ を押します。

(2) ＜ PowerManager ＞メニューで＜パワーセーブ＞を選択し、⦿ を押します。
＜パワーセーブ＞設定画面が表示されます。

(3) ▲ または ▼ で「オン」または「オフ」を選択し、⦿ を押します。
設定が完了します。

■ アナログ信号入力の場合

「VESA DPMS」に準拠しています。

[省電力の流れ]

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
省電力モード	スタンバイ サスペンド オフ	省電力モード	橙

■ デジタル信号入力の場合

「DVI DMPM」に準拠しています。

[省電力の流れ]

コンピュータの設定に連動し 5 秒後に省電力モードに入ります。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
省電力モード	省電力モード	橙

注意点

- 主電源スイッチを切るか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- ステレオミニジャックケーブルが接続されている場合も消費電力は変化します。

2‐8　モニターの自動電源切断機能の設定をする［オフタイマー］

モニターの省電力モードが一定時間続いた時に、モニターの電源を自動的に切る / 切らないの切り替えができます。

設定範囲：無効、有効（0、1、2、3、5、10、15、20、25、30、45min、1 ～ 5h）

(1) 調整メニューの＜ PowerManager ＞メニューを選択し、(●) を押します。

(2) ＜ PowerManager ＞メニューで＜オフタイマー＞を選択し、(●) を押します。
＜オフタイマー＞設定画面が表示されます。

(3) (▲) または (▼) で「有効」または「無効」を選択します。
「有効」を選択した場合は、(◀) または (▶) でモニターの電源が切れるまでの時間を選択します。

(4) (●) を押します。
設定が完了します。

2‐9　モニターの自動明るさ調整のオン / オフを切り替える［Auto EcoView］

Auto EcoView（オートエコビュー）をオンにするとモニター正面のセンサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。

(1) (🍃) を押します。
＜ EcoView ＞設定画面が表示されます。

(2) (▲) または (▼) で「Auto EcoView」を選択します。（(🍃) でも選択できます。）

(3) (◀) または (▶) で「オン」または「オフ」を選択し、(●) を押します。

参考

- Auto EcoView 機能を使用する場合はセンサーをふさがないように注意してください。

2‐10　離席時の省電力モードの設定をする [EcoView Sense]

EcoView Sense（エコビューセンス）をオンにすると、モニター正面のセンサーが人の動きを検知します。人がモニターから離れると、モニターは自動的に省電力モードに移行し、画面を非表示にして消費電力を低減します。再び人が近づくと、省電力モードから復帰して画面を表示します。EcoView Sense のセンサーの検知レベルは、ご使用の環境にあわせて変更することができます。

● オン / オフを切り替える

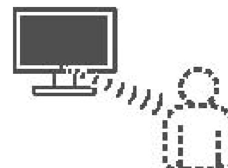
(1) (🍃) を押します。
＜ EcoView ＞設定画面が表示されます。

(2) (▲) または (▼) で「EcoView Sense」を選択します。（(🍃) でも選択できます。）

(3) (◀) または (▶) で「オン」または「オフ」を選択し、(●) を押します。

参考

- 省電力モードへの移行時には、移行をお知らせするアイコンが表示されます。



● 検知レベルを変更する

初期設定は「オート」です。意図したとおりに省電力モードに移行しない場合は、以下の手順で検知レベルを変更します。

設定範囲 : 下表参照

検知レベル	検知範囲	詳細
オート （初期設定）	自動設定 (120cm 以下)	人の動きに合わせて検知範囲を設定します。設定された範囲から離れると、省電力モードに移行します。対象物の動きの有無が判別されるため、検知範囲内に椅子や壁などがあっても省電力モードに移行できます。
マニュアル 1	自動設定 (90cm 以下)	
マニュアル 2	120cm 以下	検知範囲から離れると、省電力モードに移行します。「オート」または「マニュアル 1」でご使用中に、離席していないにもかかわらず省電力モードに移行することが多い場合、この設定に変更することをおすすめします。
マニュアル 3	90cm 以下	

(1) 調整メニューの＜ PowerManager ＞メニューを選択し、◉ を押します。

(2) ＜ PowerManager ＞メニューで＜ EcoView Sense ＞を選択し、◉ を押します。
＜ EcoView Sense ＞設定画面が表示されます。

(3) ▲ または ▼ で「オート」または「マニュアル」を選択します。「マニュアル」を選択した場合は、◀ または ▶ で 1 ～ 3（センサーの検知レベル）を選択します。

(4) ◉ を押します。
設定が完了します。

参考
- 調整メニューの向きを「縦置き」に設定すると、EcoView Sense がオフになります。ご使用の際は、オンに設定してください。

2 - 11 省電力の度合いを示すインジケータの表示 / 非表示を切り替える [EcoView Index]

EcoView Index（エコビューインデックス）をオンにすると、電源投入時やブライトネス（明るさ）調整や FineContrast（ファインコントラスト）モードの切り替え時などに、省電力の度合いを示すインジケータが表示されるようになります。インジケータが右方向に点灯するにつれ、省電力の度合いが高くなります。

(1) を押します。
＜ EcoView ＞設定画面が表示されます。

(2) ▲ または ▼ で「EcoView Index」を選択します。（ でも選択できます。）

(3) ◀ または ▶ で「オン」または「オフ」を選択し、◉ を押します。

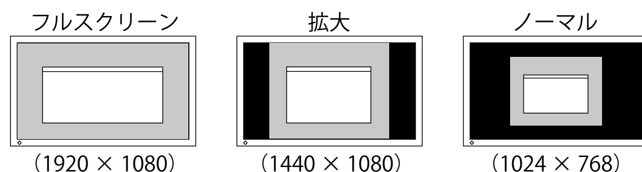
2‐12　表示サイズを切り替える

● 表示サイズを切り替える [拡大モード]

推奨解像度以外の解像度は、自動で画面いっぱいに拡大されますが、＜その他＞の＜拡大モード＞機能を使用して表示サイズを切替えることができます。

メニュー	機　　能
自動	外部機器から送信されてくるアスペクト比情報と解像度情報に応じて、自動で表示サイズを切り替えます。 HDMI（SD 信号）入力時にのみ設定できます。
フルスクリーン	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・横一定にするため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	設定した解像度のままの大きさで画像が表示されます。

例：1024 × 768 を表示した場合



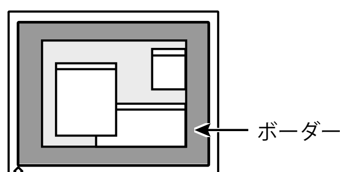
(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、◉ を押します。

(2) ＜その他＞メニューで＜拡大モード＞を選択し、◉ を押します。
＜拡大モード＞メニューが表示されます。

(3) ▲ または ▼ で「自動」/「フルスクリーン」/「拡大」/「ノーマル」のいずれかを選択し、◉ を押します。
設定が完了します。

● 画像の非表示部分の明るさを変える [ボーダー]

「ノーマル」、「拡大」モード時には、画像の周囲にボーダー（画像が表示されていない暗い部分）が表示されます。



(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、◉ を押します。

(2) ＜その他＞メニューで＜ボーダー＞を選択し、◉ を押します。
＜ボーダー＞メニューが表示されます。

(3) ◀ または ▶ で調整し、◉ を押します。
調整が完了します。

注意点

- 「ノーマル」を選択した場合、すべての色階調を表示できないことがあります。

2 - 13　調整メニューの表示を設定する

● 調整メニューの表示を変更する [メニューサイズ / メニューポジション / メニューオフタイマー / 半透明]

メニューサイズ

調整メニューの表示サイズを変更できます。

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、◉ を押します。
(2) ＜その他＞メニューで＜メニュー設定＞を選択し、◉ を押します。
(3) ＜メニュー設定＞メニューで＜メニューサイズ＞を選択し、◉ を押します。
　＜メニューサイズ＞メニューが表示されます。
(4) ▲ または ▼ で「ノーマル」または「拡大」を選択し、◉ を押します。
　設定が完了します。

メニューポジション

調整メニューの表示位置を移動できます。

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、◉ を押します。
(2) ＜その他＞メニューで＜メニュー設定＞を選択し、◉ を押します。
(3) ＜メニュー設定＞メニューで＜メニューポジション＞を選択し、◉ を押します。
　＜メニューポジション＞メニューが表示されます。
(4) ◀ / ▶ で位置を移動し、◉ を押します。
　設定が完了します。

メニューオフタイマー

調整メニューの表示時間を設定できます。

　設定範囲：無効、有効（15、30、45、60s）

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、◉ を押します。
(2) ＜その他＞メニューで＜メニュー設定＞を選択し、◉ を押します。
(3) ＜メニュー設定＞メニューで＜メニューオフタイマー＞を選択し、◉ を押します。
　＜メニューオフタイマー＞メニューが表示されます。
(4) ▲ または ▼ で「有効」または「無効」を選択します。
　「有効」を選択した場合は、◀ または ▶ でメニューの表示時間を選択します。
(5) ◉ を押します。
　設定が完了します。

参考

- FineContrast（ファインコントラスト）モード名、EcoView（エコビュー）メニューおよび EcoView Index（エコビューインデックス）の表示時間は変更できません。

半透明

調整メニューの表示透明度が設定できます。

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、◉ を押します。
(2) ＜その他＞メニューで＜メニュー設定＞を選択し、◉ を押します。
(3) ＜メニュー設定＞メニューで＜半透明＞を選択し、◉ を押します。
　＜半透明＞メニューが表示されます。
(4) ◀ または ▶ で調整し、◉ を押します。
　設定が完了します。

2 - 14　操作ボタンをロックする

調整 / 設定した状態を変更できないように、(●) での調整 / 設定をロックします。

(1) (⏻) を押して、モニターの電源を切ります。

(2) (S) を押しながら (⏻) を押してモニターの電源を入れます。
操作を実行するごとにロック / ロック解除が切り替わります。

2 - 15　モニター情報を表示する［インフォメーション］

入力信号、解像度、機種名などを表示します。

インフォメーション 1/3　…… 入力信号、解像度、水平・垂直周波数
インフォメーション 2/3　……DDC/CI 有効 / 無効
インフォメーション 3/3　……機種名、製造番号、使用時間

(1) 調整メニューの＜インフォメーション＞メニューを選択し、(●) を押します。
＜インフォメーション＞メニューが表示されます。

(2) 続けて (●) を押して、設定状況などを確認します。

参考
- 工場での検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

2 - 16　DDC/CI 通信の有効 / 無効を切り替える

DDC/CI 通信の有効 / 無効を切り替えます。

(1) (⏻) を押して、モニターの電源を切ります。

(2) (◀) を押しながら、(⏻) を押してモニターの電源を入れます。
操作を実行するごとに有効 / 無効が切り替わります。

参考
- DDC/CI の有効 / 無効の状態は、＜インフォメーション＞で確認することができます。
- HDMI 入力は DDC/CI 通信に対応していません。

2 - 17　電源ランプの点灯 / 消灯を切り替える［電源ランプ］

画面表示時の電源ランプ（青）の点灯 / 消灯の切り替えができます。

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、(●) を押します。

(2) ＜その他＞メニューで＜電源ランプ＞を選択し、(●) を押します。
＜電源ランプ＞メニューが表示されます。

(3) (▲) または (▼) で「有効」または「無効」を選択し、(●) を押します。
設定が完了します。

2 - 18　表示言語を設定する［言語］

調整メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

日本語 / 英語

(1) 調整メニューの＜言語選択＞メニューを選択し、(●) を押します。
＜言語選択＞メニューが表示されます。

(2) (▲) / (▼) / (◀) / (▶) で言語を選択し、(●) を押します。
設定が完了します。

2 - 19　EIZO ロゴの表示 / 非表示を切り替える

本機の電源を入れた時に、EIZO ロゴが表示されます。このロゴの表示 / 非表示の切り替えができます。

(1) ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。

(2) ◉ を押しながら ⏻ を押してモニターの電源を入れます。

操作を実行するごとに表示 / 非表示が切り替わります。

2 - 20　お買い上げ時の設定に戻す［リセット］

リセットには、カラー調整のみを工場出荷状態に戻すリセットと、すべての設定内容を工場出荷状態に戻すリセットの 2 種類があります。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

● カラー調整値をリセットする

現在選択している FineContrast （ファインコントラスト） モードのカラー調整値のみを初期状態（工場出荷状態）に戻します。

(1) 調整メニューの＜カラー＞メニューを選択し、◉ を押します。

(2) ＜カラー＞メニューで＜リセット＞を選択し、◉ を押します。

＜リセット＞メニューが表示されます。

(3) ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、◉ を押します。

カラー調整値が初期状態になります。

● すべての設定内容をリセットする

すべての設定内容を初期状態（工場出荷状態）に戻します。

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、◉ を押します。

(2) ＜その他＞メニューで＜リセット＞を選択し、◉ を押します。

＜リセット＞メニューが表示されます。

(3) ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、◉ を押します。

すべての設定内容が初期状態になります。

参考

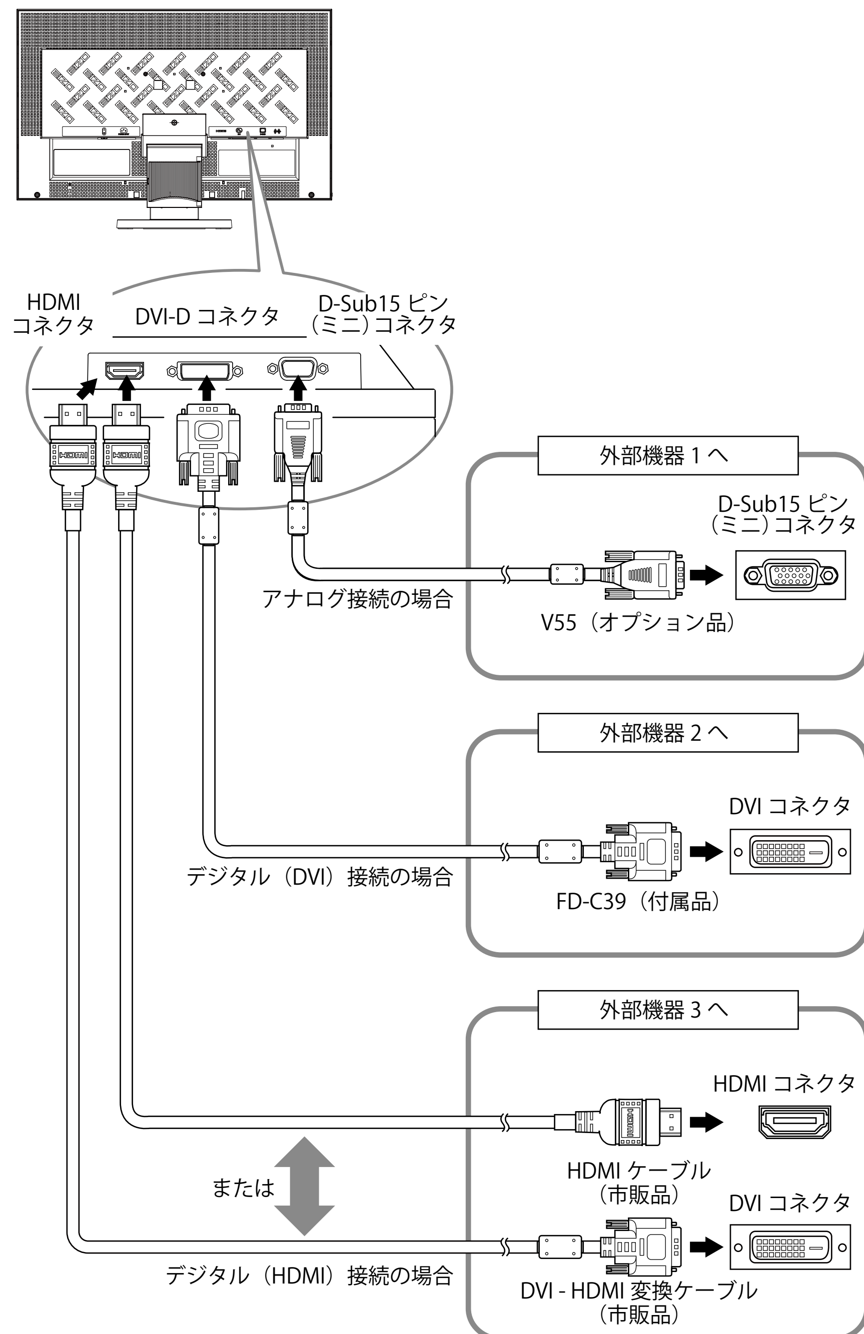
- 初期値については、巻末をご覧ください（「主な初期設定（工場出荷設定）値」P42 参照）。

第 3 章　接続する

3 - 1　　複数の外部機器を接続する

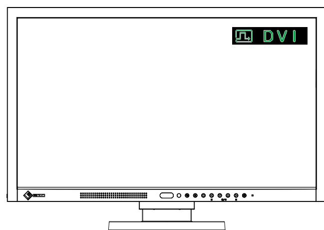
本機は、複数の外部機器を接続し、切り替えて表示することができます。

接続例



● 入力信号を切り替える

Ⓢ を押すたびに入力信号が切り替わります。
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



● 入力信号の切替方法を設定する [入力信号]

設　　定	機　　能
オート	信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。外部機器の電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に他の信号を表示します。
マニュアル	表示中の外部機器の信号のみを検知します。操作ボタンの Ⓢ で表示させたい入力信号を選択してください。

[設定方法]

(1) 調整メニューの＜その他＞メニューを選択し、◉ を押します。
(2) ＜その他＞メニューで＜入力信号＞を選択し、◉ を押します。
＜入力信号＞メニューが表示されます。
(3) ▲ または ▼ で「オート」または「マニュアル」を選択し、 ◉ を押します。
設定が完了します。

参 考

- 「オート」が選択されている場合は、全ての外部機器が省電力モードに入っている場合のみモニターの省電力機能が動作します。

第 4 章　こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

- 画面が表示されない場合 → 項目 1、2 を参照してください。
- 画面に関する症状（デジタル信号の場合） → 項目 3 ～ 11 を参照してください。
- 画面に関する症状（アナログ信号の場合） → 項目 3 ～ 8、12 ～ 14 を参照してください。
- その他の症状 → 項目 15 ～ 22 を参照してください。

症　　　状	原因と対処方法
1.　画面が表示されない • 電源ランプが点灯しない	• 電源コードは正しく差し込まれていますか。電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 • 主電源スイッチを入れてください。 • ⏻ を押してください。
• 電源ランプが点灯：青色	• ［ブライトネス］、［コントラスト］、［ゲイン］の各調整値を上げてみてください（P20、P21、P22 参照）。
• 電源ランプが点灯：橙色	• S で入力信号を切り替えてみてください。 • マウス、キーボードを操作してみてください。 • 外部機器の電源は入っていますか。 • EcoView Sense をオンにしている場合、省電力モードに移行している可能性があります。モニターに近づいてみてください。
2.　以下のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
• 信号が入力されていない場合の表示です。 例： 入力信号チェック D-SUB 信号なし	• 外部機器によっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 • 外部機器の電源は入っていますか。 • 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 • S で入力信号を切り替えてみてください。
• 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です（範囲外の周波数は赤色で表示されます）。 例： 入力信号エラー DVI fD:162.8MHz fH:　75.4kHz fV:　60.4Hz	• コンピュータの設定が、本機で表示できる解像度、垂直周波数になっていますか。（P10 参照） • コンピュータを再起動してみてください。 • グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。 fD：ドットクロック （デジタル信号入力時のみ表示されます） fH：水平周波数 fV：垂直周波数
3.　画面が明るすぎる / 暗すぎる	• ［ブライトネス］、［コントラスト］を調整してください（LCD モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください）。
4.　文字がぼやけて見える	• コンピュータの設定が、本機で表示できる解像度、垂直周波数になっていますか。（P10 参照） • ［スムージング］で調整してみてください（P18 参照）。

症　　状	原因と対処方法
5.　残像が現れる	• この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをおすすめします。 • 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
6.　画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	• これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
7.　画面上に干渉縞が見られる / パネルを押したあとが消えない	• 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
8.　画面にノイズがあらわれる	• [オーバードライブ] の設定を「オフ」にしてみてください（P23 参照）。 • HDCP 方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
9.　画面の色がおかしい（HDMI 入力時）	• 調整メニューの＜その他＞ -＜ HDMI カラースペース＞で映像信号のカラースペース（色空間）を変更してみてください。
10. 画面が白っぽい、黒っぽい	• ［HDMI カラースペース］(HDMI 入力時)、［黒レベル］、［コントラスト］を調整してみてください（P34、P20、P21 参照）。
11. 画面が点滅する（HDMI 入力時）	• HDMI ケーブルのカテゴリにより伝送できる信号が異なります。ケーブルが High Speed に対応しているか確認してください。
12. 画像がずれている	• ［ポジション］で画像の位置を合わせてください（P18 参照）。 • グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
13. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている	• ［クロック］で調整してみてください（P17 参照）。
14. 画面全体がちらつく、にじむように見える	• ［フェーズ］で調整してみてください（P17 参照）。
15. 調整メニューにおいて、＜ピクチャー調整＞の＜スムージング＞アイコンが選択できない	• 以下の表示解像度や設定の場合は、スムージングアイコンを選択することができません。 - 解像度が 1920 × 1080 の場合 - ＜拡大モード＞で「ノーマル」を選択している場合
16. 調整メニューが表示できない	• 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（P29 参照）。
17. FineContrast（ファインコントラスト）モード名が表示できない	• 調整メニューのメインメニューが起動していませんか。
18. 自動調整機能が動作しない	• 自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。 • 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
19. 音声が出ない	• ミニジャックケーブルは正しく差し込まれていますか。 • 音量が「0」になっていませんか。 • 外部機器および音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。 • HDMI 入力時は外部機器および [音源] の設定を確認してみてください（P23 参照）。

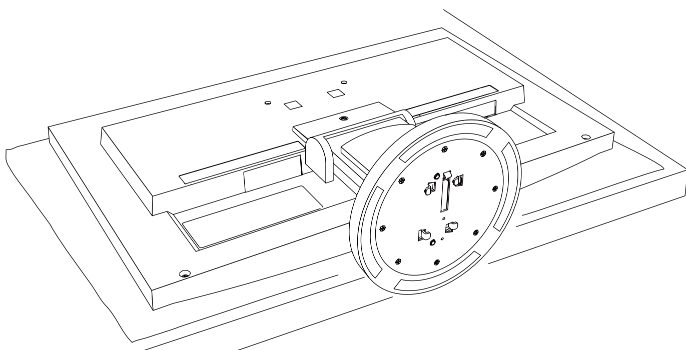
症　　状	原因と対処方法
20. （EcoView Sense 使用時） 離席しても画面が消えない。モニターに近づいても画面が表示されない。	• モニターの設置環境を確認してください。以下の環境では正しく動作しないことがあります。 - センサーの正面に、光を反射するもの（鏡やガラス面など）がありませんか。 - 直射日光が当たる場所にモニターを設置していませんか。 - モニターの周辺に赤外線を出す機器がありませんか。 - センサーの前に障害物がありませんか。 • センサーに汚れがついていませんか。汚れがある場合は、柔らかい布で取り除いてください。 • モニターの正面に座っていますか。センサーから垂直に出た赤外線によって人を検知します。 • オフタイマー機能が有効になっていませんか。有効にしていると、設定した時間が経過すると自動的にモニターの電源が切れるため、モニターに近づいても画面が表示されません。⏻ を押して電源を入れてください（P25 参照）。
21. ScreenManager Pro for LCD が動作しない	• HDMI 入力に接続したコンピュータでは ScreenManager Pro for LCD は動作しません。
22. 以下のアイコンが表示される	• EcoView Sense がオンになっています。省電力モードへの移行時には、移行をお知らせするアイコンが表示されます。（P25 参照）

第 5 章　ご参考に

5 - 1　アーム取付方法

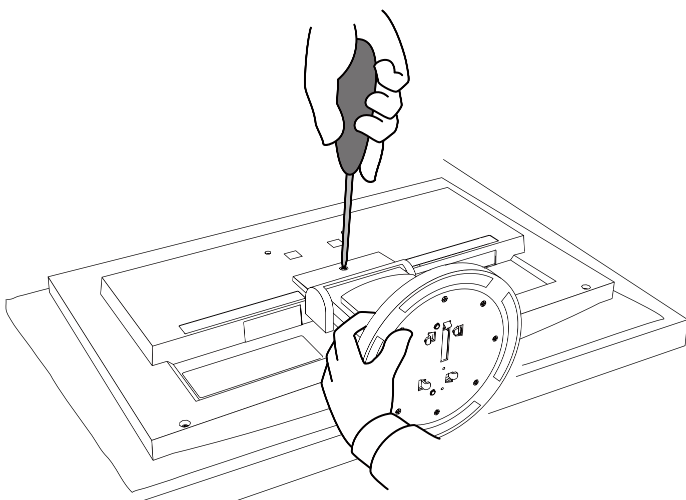
本機はスタンド部分を取り外すことによって、アーム（または他のスタンド）に取り付けることが可能になります。アームまたはスタンドは当社オプション品をご利用ください。

1　液晶パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。



2　スタンド部分を取り外します。

別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ 1 箇所を取り外します。

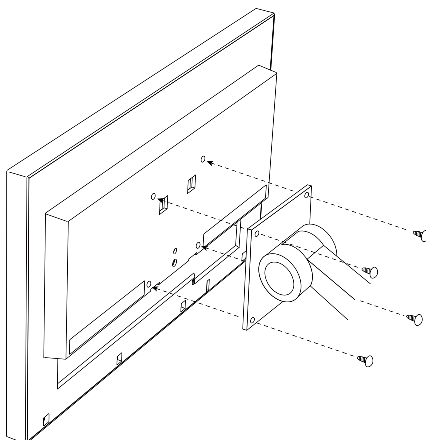


注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA 規格準拠のものをお選びください。取付には本機に付属の M4 × 12mm ネジをご使用ください。
  - 取付部のネジ穴間隔：100mm × 100mm
  - プレート部の厚み：2.6mm
  - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- アームまたはスタンドを使用する場合は、以下の範囲（チルト角）で使用してください。
  - 上 45°　下 45°
  （横表示時、および時計回り 90° に縦表示時）
- モニターを縦型表示するためには、縦型表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦型表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。
  調整メニューの<その他> - <設置方向>で、調整メニューの向きを変更することができます。
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- 取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させると、けがや故障の原因となります。

3 モニターをアーム（またはスタンド）に取り付けます。

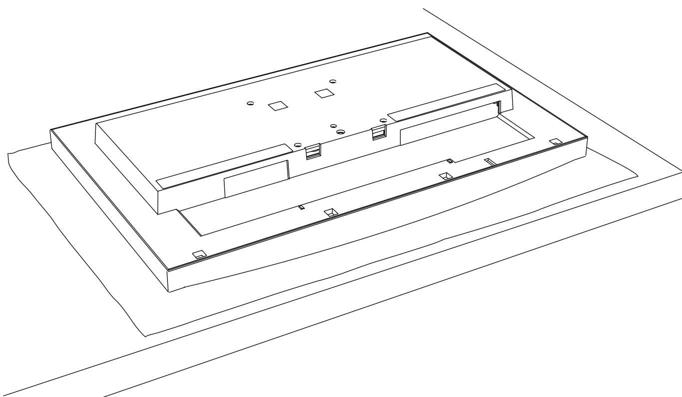
アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のネジを使って取り付けます。



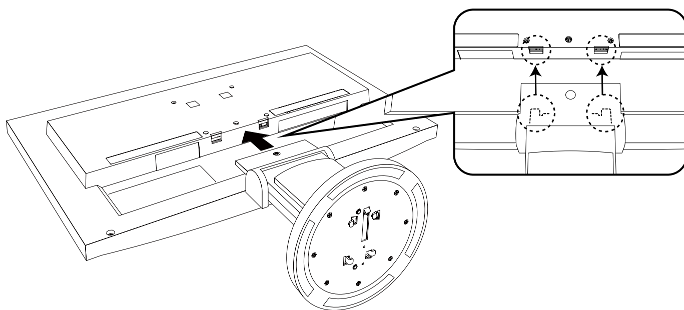
5-2 スタンド取付方法

いったん取り外したスタンドは、以下の手順で再度モニター本体に取り付けることができます。

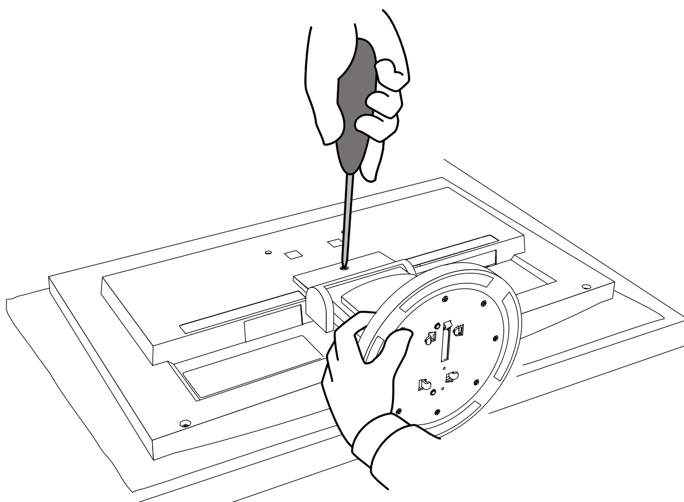
1 **液晶パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。**



2 **スタンドの差込部をモニターの差込口にはめこみます。**



3 **別途ドライバを準備ください。スタンドの上部をモニター本体に押し当てて、ドライバを使って、モニター本体とスタンドをネジ 1 箇所で固定します。**

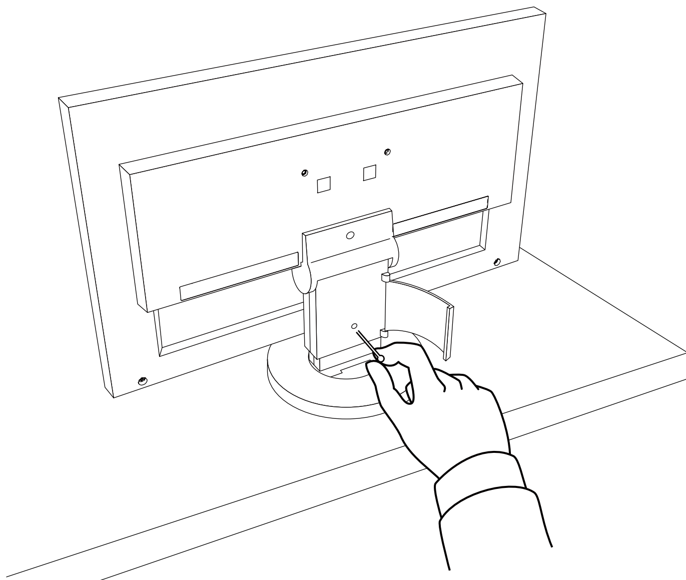


5-3　収納方法

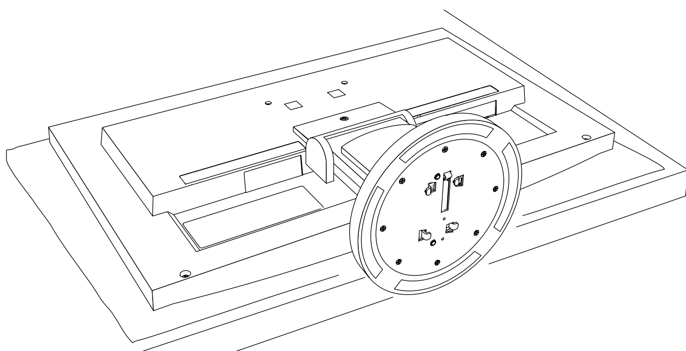
モニターを再梱包する場合は、以下の手順でスタンドベースを取り外し、スタンドを収納してください。

1 **ケーブルホルダーを開けます。**

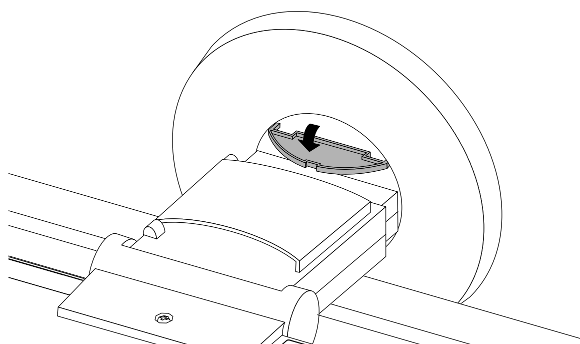
2 **モニター本体を最下部まで下げて、スタンドにピンを差し込みます。**



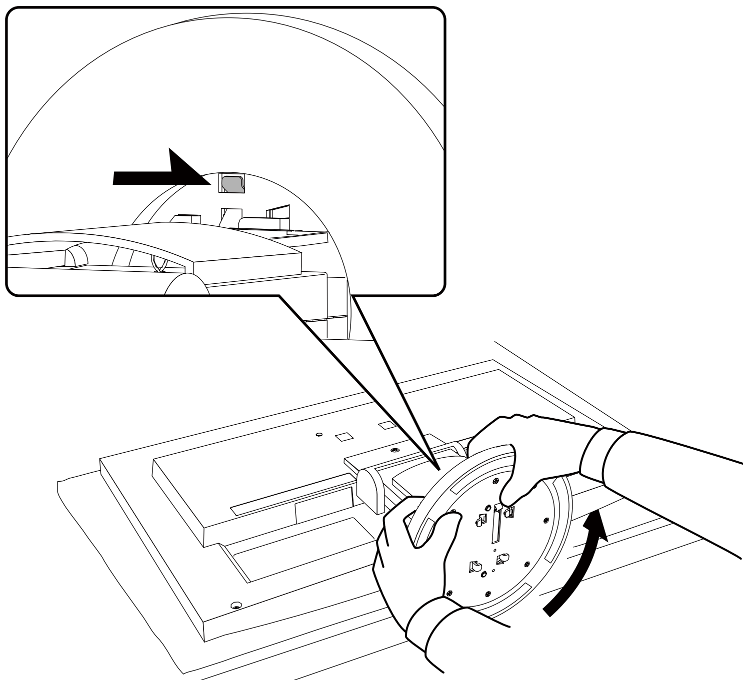
3 **液晶パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。**



4 **スタンドベースのカバーを開けます。**



5 **スタンドベースの突起部を押しながら、スタンドベースを反時計回りに回して取り外します。**



5-4　仕様

液晶パネル		58cm（23.0）型カラー TFT、アンチグレア、ハードコーティング 視野角：左右 178°、上下 178°（CR ≧ 10）
ドットピッチ		0.2655mm
D-Sub 入力		水平走査周波数：31 ～ 81kHz 垂直走査周波数：55 ～ 76Hz（ノンインターレース） ドットクロック（最大）：148.5MHz
DVI-D 入力		水平走査周波数：31 ～ 68kHz 垂直走査周波数：59 ～ 61Hz（ノンインターレース） （VGA TEXT 時：69 ～ 71Hz） ドットクロック（最大）：148.5MHz
HDMI 入力	PC 信号	水平走査周波数：15 ～ 68kHz 垂直走査周波数：59 ～ 61Hz （VGA TEXT 時：69 ～ 71Hz） ドットクロック（最大）：148.5MHz
	ビデオ信号	対応フォーマット -VGA /525i（480i）/525p（480p）/1125i（1080i）/750p（720p）/1125p（1080p） 垂直周波数：59Hz ～ 61Hz
	音声信号	対応フォーマット - 2ch リニア PCM（32kHz / 44.1kHz / 48kHz）
解像度		1920 ドット× 1080 ライン
最大表示色		約 1677 万色（約 10 億 6433 万色中／ 10bit LUT）
表示サイズ（水平×垂直）		509.76mm × 286.74mm
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz、0.75A
消費電力	画面表示時	45W 以下（スピーカー動作時） 42W 以下（スピーカー非動作時）
	省電力モード時	1W 以下（D-Sub 1 系統入力時、ステレオミニジャックケーブル非接続時、[EcoView Sense]：「オフ」設定時）
	電源ボタンオフ時	0.1W 以下（ステレオミニジャックケーブル非接続時）
	主電源スイッチオフ時	0W
信号入力コネクタ		D-Sub15 ピン（ミニ）
		DVI-D コネクタ（HDCP 対応）
		HDMI TypeA ※
アナログ信号　入力同期信号		セパレート、TTL、正 / 負極性
アナログ信号　入力映像信号		アナログ、正極性（0.7Vp-p/75 Ω）
デジタル信号　伝送方式		TMDS（Single Link）
ビデオ信号メモリー		D-Sub 入力　45 種（プリセット 14 種） DVI-D 入力　10 種 HDMI 入力　10 種
音声出力		スピーカー出力：0.35W（8 Ω、THD ≦ 10%） ヘッドホン出力：2mW ＋ 2mW
ライン入力		入力インピーダンス：48k Ω（typ.） 入力レベル：1.0Vrms（最大）
プラグ＆プレイ機能		VESA DDC 2B/EDID structure 1.3

※ HDMI CEC 機能（相互制御機能）には対応していません。

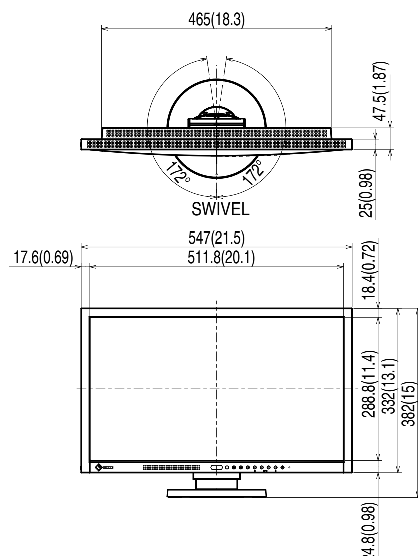
寸法	本体	547mm（幅）× 442 ～ 382mm（高さ）× 200mm（奥行き）
	本体（スタンドなし）	547mm（幅）× 332mm（高さ）× 47.5mm（奥行き）
質量	本体	約 5.5kg
	本体（スタンドなし）	約 4.3kg
可動範囲	チルト角度	上 25°下 0°
	スィーベル角度	右 172°左 172°
	昇降	60mm
環境条件	温度	動作温度範囲：5℃～ 35℃ 輸送および保存温度範囲：-20℃～ 60℃
	湿度	動作湿度範囲：20% ～ 80% R.H.（非結露状態） 輸送および保存湿度範囲：10% ～ 80% R.H.（非結露状態）
	気圧	動作気圧範囲：700hPa ～ 1060hPa 輸送および保存気圧範囲：200hPa ～ 1060hPa

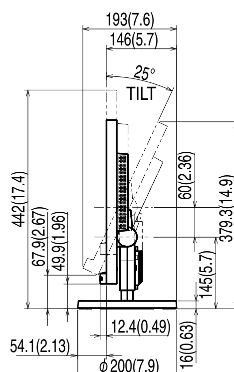
主な初期設定（工場出荷設定）値

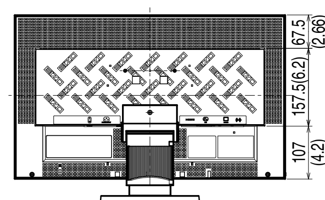
Auto EcoView		オン
EcoView Sense		オン
EcoView Index		オン
スムージング		3
FineContrast（ファインコントラスト）モード		D-Sub、DVI-D 入力時：Custom HDMI 入力時：Game
PowerManager - パワーセーブ		オン
入力信号		マニュアル
拡大モード		D-Sub、DVI-D 入力時：フルスクリーン HDMI（PC 信号 /HD 信号）入力時：フルスクリーン HDMI（SD 信号）入力時：自動
オフタイマー		無効
メニュー設定	メニューサイズ	ノーマル
	メニューオフタイマー	45 秒
言語選択		日本語

外観寸法

単位：mm（インチ）

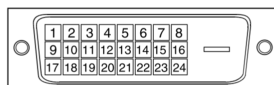






入力信号接続

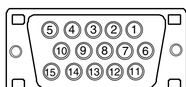
- DVI-D コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	T.M.D.S. Data 2-	9	T.M.D.S. Data1-	17	T.M.D.S. Data0-
2	T.M.D.S. Data 2+	10	T.M.D.S. Data1+	18	T.M.D.S. Data0+
3	T.M.D.S. Data2/4 Shield	11	T.M.D.S. Data1/3 Shield	19	T.M.D.S. Data0/5 Shield
4	NC*	12	NC*	20	NC*
5	NC*	13	NC*	21	NC*
6	DDC Clock （SCL）	14	+5V Power	22	T.M.D.S. Clock shield
7	DDC Data （SDA）	15	Ground （return for +5V, Hsync, and Vsync）	23	T.M.D.S. Clock+
8	NC*	16	Hot Plug Detect	24	T.M.D.S. Clock-

（NC*: No Connection）

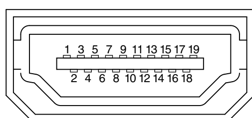
- D-Sub15（ミニ）コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	Red video	6	Red video ground	11	NC*
2	Green video	7	Green video ground	12	Data （SDA）
3	Blue video	8	Blue video ground	13	H.Sync
4	NC*	9	NC*	14	V.Sync
5	Ground	10	Ground	15	Clock （SCL）

（NC*: No Connection）

- HDMI コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	T.M.D.S. Data 2+	8	Ground	15	DDC Clock （SCL）
2	Ground	9	T.M.D.S. Data 0-	16	DDC Data （SDA）
3	T.M.D.S. Data 2-	10	T.M.D.S. Clock+	17	Ground
4	T.M.D.S. Data 1+	11	Ground	18	+5V Power
5	Ground	12	T.M.D.S. Clock-	19	Hot Plug Detect
6	T.M.D.S. Data 1-	13	NC		
7	T.M.D.S. Data 0+	14	NC		

（NC*: No Connection）

別売オプション品

クリーニングキット	EIZO「ScreenCleaner」
信号ケーブル (D-Sub15 ピン（ミニ）)	V55

オプション品に関する最新情報は、当社のホームページをご覧ください。
http://www.eizo.co.jp

5-5　用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：ケルビン（Kelvin）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。
5000K：やや赤みがかった白色
6500K：暖色で紙色に近い白色
9300K：やや青みがかった白色

オーバードライブ

液晶画素の動作時にかける電位差を大きくすることによって、応答速度を向上させる技術で、一般的に液晶テレビなどに用いられています。動画内に頻繁に現れる中間階調域の応答速度を向上させることにより、残像の少ない、くっきりとした立体感豊かな表示を提供します。

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機種の場合は横 1920 個、縦 1080 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1920 × 1080 の解像度であれば、画像は画面いっぱい（1 対 1）に表示されます。

カラースペース

色を規定し、表現するための方法。輝度（Y）と赤の色差（U）、青の色差（V）により表現する YUV、赤（R）、緑（G）、青（B）の 3 色の階調により表現する RGB などがあります。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の 3 原色であり、画面上に表示されるすべての色は 3 色の組み合わせによって構成されます。3 色のフィルターに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをおすすめします。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをおすすめします。

DDC/CI（Display Data Channel / Command Interface）

VESA によって標準化された、コンピュータとモニター間で設定情報などを双方向にやりとりするための国際規格です。

DVI（Digital Visual Interface）

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。
伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル / アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DMPM（DVI Digital Monitor Power Management）

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態については Monitor ON（オペレーションモード）と Active Off（省電力モード）が必須となっています。

HDCP（High-bandwidth Digital Contents Protection）

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。
DVI 端子を経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。
出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）

HDMI とは、コンピュータとモニターを接続するときのインターフェース規格のひとつである「DVI」をベースにして、家電や AV 機器向けに発展させたデジタルインターフェース規格です。映像や音声、制御信号を圧縮することなく、1 本のケーブルで伝送することができます。

sRGB（Standard RGB）

周辺機器間（モニター、プリンター、デジカメ、スキャナーなど）の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

TMDS（Transition Minimized Differential Signaling）

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPMS（Video Electronics Standards Association - Display Power Management Signaling）

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPMS はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

5-6 プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです（アナログ信号のみ）。

表示モード	ドット クロック		周波数 水平：kHz 垂直：Hz	極　性
VGA 640 × 480@60Hz	25.2 MHz	水平	31.47	負
		垂直	59.94	負
VGA TEXT 720 × 400@70Hz	28.3 MHz	水平	31.47	負
		垂直	70.09	正
VESA 640 × 480@75Hz	31.5 MHz	水平	37.50	負
		垂直	75.00	負
VESA 800 × 600@60Hz	40.0 MHz	水平	37.88	正
		垂直	60.32	正
VESA 800 × 600@75Hz	49.5 MHz	水平	46.88	正
		垂直	75.00	正
VESA 1024 × 768@60Hz	65.0 MHz	水平	48.36	負
		垂直	60.00	負
VESA 1024 × 768@75Hz	78.8 MHz	水平	60.02	正
		垂直	75.03	正
CEA-861 1280 × 720@60Hz	74.3 MHz	水平	45.00	正
		垂直	60.00	正
VESA 1280 × 960@60Hz	108.0 MHz	水平	60.00	正
		垂直	60.00	正
VESA 1280 × 1024@60Hz	108.0 MHz	水平	63.98	正
		垂直	60.02	正
VESA 1280 × 1024@75Hz	135.0 MHz	水平	79.98	正
		垂直	75.03	正
VESA CVT 1680 × 1050@60Hz	146.3 MHz	水平	65.29	負
		垂直	59.95	正
VESA CVT RB 1680 × 1050@60Hz	119.0 MHz	水平	64.67	正
		垂直	59.88	負
CEA-861 1920 × 1080@60Hz	148.5 MHz	水平	67.50	正
		垂直	60.00	正

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置等がずれ、調整メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

第 6 章　アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポートの拠点一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 7 年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
  保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
  お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている 8 けたの番号です。例）S/N 12345678）
- 使用環境（接続している機器 / グラフィックスボード /OS・システムのバージョン / 表示解像度等）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に適合した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

製品回収・リサイクルシステムについて

- パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。当社は、使用済みモニターの回収・リサイクル体制を構築しており、お客様が本製品をご使用後に廃棄する際は下記の要領でお引取りしています。

＊なお、詳しい情報については、当社のホームページもあわせてご覧ください。（http://www.eizo.co.jp）

• 法人のお客様　本製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償でお引取りいたします。詳細については下記までお問合せください。

［エイゾーサポートネットワーク株式会社］

電話での問合せ受付	FAX での問合せ受付
076-274-7369（専用）	076-274-2416
月曜日～金曜日 （祝日及び当社休日を除く） 9：30 ～ 17：30	24 時間受付 但し、回答は営業時間帯 （電話受付時間帯と同じ）

• 個人のお客様

PC リサイクルマークの無償提供について

本製品は、PC リサイクル対象製品です。

当社では、本製品をご購入いただいた個人のお客様に PC リサイクルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、下記の Web サイトからお申し込みください。

マークは本体背面部のラベルの近くに貼付ください。

情報機器リサイクルセンター
ホームページ：http://www.pc-eco.jp/
※「PC リサイクルマーク申込」からお入りください。
（回収担当窓口は、情報機器リサイクルセンターにて対応いたします。）

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されているモデル名と製造番号が必要となります。

PC リサイクルマークについて



個人のお客様が、このマークがついた当社製品の回収を情報機器リサイクルセンターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担いただくことなく回収・再資源化いたします。

お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、情報機器リサイクルセンターまでお願いいたします。

情報機器リサイクルセンター
電話：03-3455-6107
月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）9:00 ～ 17:00



株式会社ナナオ
〒924-8566　石川県白山市下柏野町 153 番地
http://www.eizo.co.jp

第 2 版　2010 年 5 月
03V23020B1
(U.M-EV2334W)